

2004 年度協働事業提案 調整記録

- | | |
|---------|--|
| 1. 提案事業 | <u>市民による市民の為の市民が作るウェブサイト</u> (第2回) |
| 2. 日時 | 7月2日(金) 14時30分から16時15分 |
| 3. 場所 | 会議室棟 203 会議室 |
| 4. 参加者 | 提案者: 友部浩氏 担当委員: 内田哲世氏 情報政策課(村山)
事務局ボランティア(中島) 市民活動課(井東) |

【主な内容】

○提案者

- ・ ボランティアでも営利的な活動でも対象となるような市民の目線でのホームページづくりが発想の原点にある。
- ・ 先日の公開プレゼンテーションに参加して、提案者の多くが情報発信をしたがっている点を感じた。協働事業に関する情報交流にも役立てばと考えている。
- ・ インターネットを活用した地域の活性化、地域に根ざした情報コミュニティを実現したいという個人の想いで提案している。運用等の具体的な課題については、今後進めるなかで考えていきたい。
- ・ 協働の拠点準備会には、引き続き参加する予定である。

○委員 事務局ボランティア

- ・ 協働事業として提案者と市がお互いに何を担い何をめざすのか。提案者のやりたいことが、まだみえてこない。
- ・ 協働事業の広報などに限定した内容であればわかりやすいのだが、全体的にぼやっとしている。
- ・ 市民活動センターの機能として市民活動関連の情報の集約と発信がある。提案と重なる部分もあり、目指す方向性も同じだと思う。開設に向けた準備組織「協働の拠点準備会」に引き続き参加をお願いしたい。
- ・ ホームページ活用のためのナビゲーション的なものをイメージされているのだと思う。

○情報政策課

- ・ 情報の提供や交流の場であれば、どこコミやラブスなどのシステムが既にある。システム改善に関する提案ならば協議できるが、別に新しいシステムをつくるとなると、市として協働する意義がどこにあるのか、ということになる。
- ・ IT に関する技術的なアドバイスを受ける機会は、公共・民間のサービスのなかでたくさんある。ラブスサポートセンターでも相談にのってくれると思う。
- ・ 営利活動も認めるホームページであると、市との協働にも制約が出てくる。

- ・ 魅力あるホームページのためには、継続的な情報の更新が必要。
- ・ 掲示板も、つくっただけで放っておいては活性化しない。

○事務局

- ・ 引き続き、協働の拠点準備会へ参加して、提案の実現化に向けた活動をお願いしたい。

【確認事項】

- ・ 今回の会議内容を受けて、提案者が再度提案内容を検討する。
- ・ 公開検討会（7月18日）前の調整会議は特に予定しないが、調整が必要となった場合は、会議を開催する（市民活動課窓口）。
- ・ 拠点準備会に、引き続き提案者が参加する。

（記録者：市民活動課 井東）